

報道ご関係者各位
2012年12月19日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK:945

第61回東京都社会福祉大会で、東京都社会福祉協議会会長感謝状を拝領

マニライフ生命保険株式会社(代表執行役社長:森田 均、本社:東京都調布市)は、12月18日に東京都庁で開催された第61回東京都福祉大会において、東京都社会福祉協議会会長より感謝状を拝領いたしました。

東京都社会福祉大会は、東京の社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者を表彰し、優れた活動内容を紹介することにより、福祉活動の普及・促進を行い、誰もが安心して暮らせる社会の実現を図る目的で開催されています。

この度、被災地復興支援の一環として当社が取り組んでいる「被災地ボランティア派遣」活動が評価され、この度の表彰にいたりました。岩手県沿岸部の被災地における支援活動を調布市社会福祉協議会が官民協働で進めており、当社はこの活動資金の支援やボランティア参加の啓蒙活動を行い、当社社員もボランティア活動に参加し、瓦礫撤去や街づくりのお手伝いをさせて頂いております。この活動は日本ヒューレット・パッカート株式会社と協働支援で行っております。また、一般市民の方々も参加しています。参加される方は生活費のみの負担でボランティア活動を行うことができ、企業、行政、一般市民が一体となって取り組む活動としても注目されています。

森田 均 代表執行役社長は、次のように述べています。

「調布市、調布市社会福祉協議会、そして日本ヒューレット・パッカートの皆さまとともに取り組んできたこの活動を評価頂き大変光栄です。当社は、長期的な視野に立ち、今後も支援活動に積極的に心を込めて取り組んでまいります。」



左から、日本ヒューレット・パッカート、マニライフ生命、調布市社会福祉協議会の各担当者



調布市社会福祉協議会、日本ヒューレット・パッカート、マニライフ生命のバナーを貼った調布市のバス

マニライフについて

マニライフ生命保険株式会社(「マニライフ生命」)は、マニライフファイナンシャル社のグループ企業です。マニライフファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。マニライフは信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、お客さまにお届けすることを目指して、2012年で創業125周年を迎えました。同社職員、エージェンツおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客さまに経済的保障や資産運用形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニライフファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2012年9月30日現在5,150億カナダドル(5,230億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニライフファイナンシャル(マニライフ)として、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニライフファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニライフファイナンシャルについての詳細はウェブサイト(www.manulife.com)をご覧ください。マニライフ生命のウェブサイトは次の通りです。(www.manulife.co.jp)